

結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会

事務局発行

甲府市北口一丁目一九

甲府地方事務局

人権擁護課内

「結い」とは田植えなどの時の助けあいのこと。土くさくあたたかい言葉です。

総力挙げた関プロ大会

県内委員の九四パーセントが結集

関東人権擁護委員連合会大会・研究大会が、六月一七日、富士の麓、富士吉田市ハイランドリゾートホテルで開催された。当日は一都一〇県より、四三六名の委員が集結、終日熱心な討議・意見交換を行った。

午前一一時に理事会・総会が開始され、以後淀みなく全て計画のままに進行、午後一時には大会が、続いて横田ご夫妻による「ブルーリボンに祈りを込めて」の講演会。危惧された分科・分散の会場移動も混乱は見られず、スムーズに行われた。

講演会には二〇〇名の地元民生・児童委員も参加、六三〇名の大聴衆の感動で会場は埋め尽くされ、また分科・分散会も議論白熱。一八時からの意見交換会には三七六名が出席、舞踊・ジャズ・ろうあ太鼓を楽しみながら他県委員との交流を深めた。平安の昔、「時知らぬ山」と都人を驚嘆させた富士の山が、ホール正面を覆い尽くし、会場は高揚感に満たされ、山梨大会の思い出をますます揺るぎないものとした。

翌一八日のエクスカージョ

関東人権擁護委員連合会の一都一〇県の人権擁護委員が集い、富士山の裾野のホテルにて、大会・研究大会・意見交換会・エクスカージョンが予定どおり行われ、滞りなく終わることができました。

山梨県人権擁護委員連合会会長

丸山 公夫

大会では、山浦東京法務局長、横内山梨県知事をはじめ、御来賓の方々に出席いただきました。感謝申し上げます。

また、北朝鮮に愛娘めぐみさんを拉致された横田滋、早紀江様ご夫妻の講演では、その長年にわたる壮絶な闘いを語られ、皆様に比類ない感動を与えました。また、四会場での活発な分科会での議論は貴重なものであり、意見交換会の舞台演芸も楽しいものでした。

翌日のエクスカージョンは、約一〇〇名の委員の参加のもと、新緑に映える富士山周辺の探索を楽しんでいただきました。

二日間の日程を無事に終えることができましたのは、ひとえに長期間の準備に取り組んでこられた実行委員会、委員並びに関係各位の皆様のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

県内外から遠路をご出席の委員より、「横田ご夫妻のお話に感動した。拉致のようなことは決して許されたい」、「人権とは何か、あらためて考えた」、「分科会の意見は大変参考になった」、「富士山が真正面に見られる良い環境で開催されてよかった、楽しかった」等、多くの感想が寄せられ、一年目に巡ってきた今大会を無事に終えられたことを嬉しく思いました。

五月二二日、平成二二年山梨県人権擁護委員連合会総会が一八〇名の参加を得て、ベルクラシック甲府で開催された。

県連定時総会開催

各協議会でも

ンには総勢九二名が参加、バス三台に分乗して富士山五合目・リニア見学センターなどを巡り、本大会は大成功の評価を残して終了した。

午前の人権啓発講演会では「楽しくすすめる人権学習」に参加型人権学習への招待」と題して、桜井・法貴グロバール教育研究所代表の桜井高志講師が講演。「人権は優しくて易しいもの」なぜならすべての人に必要だから」という基本的な考え方から始まり、実際に会場で、一課題について二人一組になって意見交換をさせるなど、参加型の手法を使った人権学習の方法を手ほどきされ、人権感覚と人権意識の違いは：等、限られた時間の中でわかりやすく指導された。



午後九時の総会では、表彰に続いて議事に入り、平成二一年度の事業報告・収支決算監査報告並びに平成二二年年度の事業計画・収支予算案が承認され、連合会役員選任についての会則の一部改正も承認された。新年度の役員は、理事二名と監事一名が交代したほかは、丸山会長以下、留任が了承された。

また、関プロ大会について報告があり、この大会での着用を期して準備された啓発用ベストについての報告等もあり、滞りなく終了した。

このほか甲府、都留、峡南の各協議会の総会も四月一四日から二二日にかけて順次開催された。

☆今回は関プロ山梨大会の特集号です。(二〜三画)

特集 関プロ山梨大会を振り返って

六月一七日・一八の両日に向け、山梨県連委員の総力を挙げて実施された関プロ山梨大会、本当にご苦労さまでした。その先導を務められた実行委員会の各担当者から、関プロ山梨大会を振り返っていただきました。

□好天で身も心も快晴

総括担当 橋本 英紀
第一回の企画実行委員会、富士吉田市において開催することが決定されたとき、梅雨時で大丈夫かなと心配になりましたが、当日、富士山の雄姿が見えたとき、大会が成功すると確信しました。

身の細る思いをしております。また、大会当日は、講師担当を務め、横田ご夫妻の手柄に感銘を受けました。講演会には四三六名の委員の他、約二〇〇名の地元民生・児童委員も出席し、広い会場はぎっしりと聴衆で埋めつくされました。

甲府地方事務局の職員として、実行委員会総括担当の一員に加えて頂き、以降、関プロとのやりとり、資料の作成など充実した日々を過ごすことができました。



体調が不十分な中、滋氏は拉致から今日に至る苦難の道のりを淡々と語られ、早紀江様は母の心を切々と訴え、満場の涙を誘っていました。

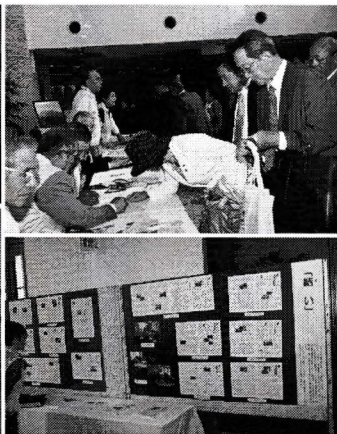
意見交換会での他県連の方々との会話から、本大会が好意的に受け止められたことを知り、喜びを噛みしめました。これは、まさに一人一役の立場で全委員の皆様が取り組んだ結果だと思えます。

約一年間充実した日々

と、勉強する機会を頂き、ありがとうございます。そして、お疲れ様でした。

□関プロまでの道のり

会場・受付担当 小林 一有
昨年六月一八日早朝、栃木県宇都宮市の関プロ会場を目指し出発した時より、平



その後約月一回のペースで委員会が開催され、さらに数回、都留協議会正副会長、事務局長ほかとハイランドリゾートホテルを訪れ、会場の下見等をする中、ホテル側の全面協力をいただき、会場・看板等の準備は完全に整いました。

当日の受付・案内などの人員配置については、都留協議会の常務委員・事務局員を始め、ほとんどの協議会委員の協力を得て、前日の一回だけの打合せでその日を迎えました。

一番心配した天候は雨もなく会議中は静かに顔を隠していた霊峰富士が、意見交換会の始まる時間には頂から裾野まで素晴らしい姿を見せてくれました。この時、会場の他県委員の方々の歓声を聞き、大会の大成を信じていました。



□分科会は四会場

研究会担当 佐野よ志み
雄大な富士を仰ぎつつ、関プロ山梨大会は大勢の参加者のもと無事終了した。

分科会は、第一テーマを「人権擁護委員活動の現状と問題点」、第二テーマを「自主運営の現状と成果及び問題点」の二テーマに決め、各テーマを二分散し四会場で開催した。参加者は希望したテーマの会場を、各自の会場名を記載した資料や名札で確認し、移動は誘導のもと速やかでほぼ定時刻に開始できた。

会の進め方はフリートークキングで多くの意見が出された。第一テーマでは委員の立場や活動内容に意見が集中し、第二テーマでは「自主運営」の問題点、特に活動と予算等について意見が出された。司会者・記録者・マイク担当の皆様が立場を大事に協力し、各会場とも更に時間が欲しい程に盛り上がった。

分科会開催に向け、昨年八月七日の第一回より本年六月二日の運営委員会まで八回の会議を経て、忌憚の無い意見交換をしてきた。全員が結束し分科会の運



賞ができたことを喜び、ご協力下さった皆様に厚くお礼を申しあげたい。

□大満足の意見交換会

意見交換会担当

藤巻 英樹

六月一七日午後七時二五分、会場は熱気に包まれていました。全員立ち上がり、両手を高く上げ、ひらひら振りながら「アンコール、アンコール」の大合唱。会場が一つになった瞬間でした。この光景に、意見交換

会担当委員として共に準備してきた全員が感動したのではないかと思います。



午後六時、意見交換会が始まり、全体の様子に気を配っているうちに、アトラクション開始。民謡による舞踊のしなやかで可憐な舞に最初の拍手、ジャズが演奏される頃には屋台の前は演奏に合わせて身を振りながら並ぶ人の列。鳥もつ、吉田のうどんも大好評でした。

ゆでたてのモロコシも皆さんおいしそうに食べていて一安心。また、すばらしいジャズの演奏に心もウキ

ウキ拍手喝采。ろう太鼓の演奏では、会場中が、一音の乱れもない巧みなバチさばきや、変幻自在な身のこなしに魅了されていました。関プロの中村会長さんも、料理もアトラクションも大満

足しましたと挨拶され、一時間半の意見交換会は終わりました。

思えば、昨年七月関プロ実行委員会発足以来今日まで、実行委員や理事事務局の皆様方が心を一つにして努力した結果だと感謝し、ご苦労



さまでしたと心からお礼申し上げます。

□富士山麓散策と

リニア実験線

エクスカースION担当

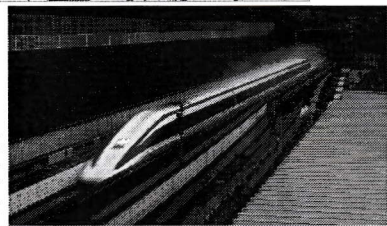
上田 勝也

一日の関プロ大会、横田夫妻の講演会、意見交換会、この時丁度姿を見せた富士山に参加者の感嘆の声

が響き、交換会が一層盛り上がりました。その余韻を一八日のバスに乗せ、総勢九二名の富士山麓散策とリニア実験線の観光案内が始まったのですが、関東地方も大会開催

日の直近に梅雨入りとなり、当日は生憎の曇り空となっ

てしまい、富士山を望むことが出来ず心配しながらの出発でした。乗車時には霊峰富士山など見学のコースの観光案内資料をお渡しし、道中のお役に立てていただけたことと思



たが、それでも県外の委員さんは残雪の富士山を間近に見、感激の面持ちでした。初めて食した「美味いもん

だよ南瓜のほうとう」の作り方を教わる県外委員の皆さんは楽しそうでした。最後に近

未来の乗り物・リニアカーの試験走行を眼前で見、唯その速さに目を見張りながら全線開通の実現に思いを馳せていました。瞬

いに別れを惜しみつつ、次回群馬県での再会を約し散会しました。このエクスカースIONが参加者に喜んで貰え無事終了したことは、関係団体、各委員さんのご協力に他ならないと、エクスカースION担当者を代表して感謝申し上げます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
アンケートに見る大会
当日回収したアンケートの集計結果は左表の通り。大会運営から意見交換会まで、いずれの分野も好評価をいただいた。綿密な計画と万全の準備、まさに全委員の総力集結の結果と言える。

平成22年度 関東人権擁護委員連合会
大会・研究大会アンケート集計結果

1 大会運営等について

開催場所	良かった 66	普通 8	悪かった 8
受付・案内	良かった 60	普通 12	不十分 1
大会運営	良かった 70	普通 10	良くなかった 1

2 講演会について

講演テーマ	良かった 73	普通 8	良くなかった 0
講演内容	良く分かった 70	普通 12	分かりにくかった 0
拉致問題	積極的に取り組む 51	他の課題と同様 23	

3 分科会について

テーマ	良かった 58	普通 15	良くなかった 1
討議内容	良かった 46	普通 26	良くなかった 2
今後の活用	大変参考になった 43	普通 22	参考にならない 3

4 意見交換会について

配席等	大変良かった 42	普通 13	良くなかった 1
意見交換	良くできた 45	普通 9	良くできなかった 1
料理等	良かった 39	普通 15	良くなかった 0

大空に種をへ人権の花運動

今年も例年通り五月〜六月にかけて「人権の花」の贈呈式が県下二〇の小学校

(県ネット主催 一八校、上野原市・富士吉田市主催各一校)で実施された。詳細は左表の通り。

今年も天候不順の日が多く、実施が心配されたが、風が強く風船が割れてしまった

所もあつたものの、好天に恵まれた学校が多く、贈呈のセレモニー後、「人権を大切に」という子どもたちのメッセージを託された風船



は、子どもたちの期待と歓声の中、五月晴れの空に吸い込まれていった。

「花」の贈呈に、子どもたちの代表が、「花を立派に育てながら、思いやり

の心もしっかり育てます」と誓ってくれたこと、子どもたちが目を輝かせながら、「また風船飛ばしやらせてね!」どこまで飛んでいくのかなあ「お返事くるかな」と、いつまでも大空を見上げていたのが印象的だった。

また、富士豊茂小学校では、贈呈式の後、さっそく贈られたポットに、児童が工夫しながら花の苗を植え

平成22年度「人権の花」運動実施校				
協議会	学校名	市町村	児童数	実施日
甲府	大里小学校	甲府市	675	6月7日
	富士見小学校	笛吹市	373	5月13日
	後屋敷小学校	山梨市	304	5月18日
	奥野田小学校	甲州市	191	5月20日
	八田小学校	南アルプス市	509	6月15日
	双葉西小学校	甲斐市	306	6月11日
	豊富小学校	中央市	240	6月22日
	武川小学校	北杜市	164	6月7日
峡南	鯉沢小学校	富士川町	188	5月11日
	下部小学校	身延町	58	5月20日
	富河小学校	南部町	138	5月19日
	市川小学校	市川三郷町	396	6月22日
都留	谷村第二小学校	都留市	148	5月25日
	都留文科大学付属小学校	都留市	62	5月26日
	梁川小学校	大月市	38	6月7日
	丹波小学校	丹波山村	14	6月22日
	小菅小学校	小菅村	27	6月22日
	富士豊茂小学校	富士河口湖町	31	5月14日
	秋山小学校	上野原市	96	6月4日
(独自)	下吉田第二小学校	富士吉田市	653	6月4日

込んでいた。見事な成長を期待したい。

子どもたちの心に、「おもいやりの気持ち」が豊かに花開いてくれること、その子どもたちが大空に播いた種があちこちで根をおろし、広く「人権の根」を張ってくれることを願いつつ「花」の贈呈式を終えた。

人権擁護委員の日

「人権擁護委員の日」の活動が、今年も六月一日を中心に県内全市町村で展開された。街頭啓発・特設相談所の開設が、一九七名の委員が参加して行われ、「みんなで築こう人権の世紀」を考えよう相手の気持ち、育てよう思いやりの心」と訴えた。この日の相談件数は三三件と、昨年を大幅に上回った。

人権標語コンテスト

第五回人権標語コンテスト作品募集が六月三〇日に締め切られ、五二七七編の応募があった。今年に応募の方法を電子メール

委員から一言

関プロ・エクスカージョン 担当の一員として

大野 義嗣(早川町) 聞き慣れない言葉に戸惑いを感じつつ、「只の観光旅行とは違う意味があるのかも知れない」そんな事を自問自答しながらの日々であった。

だが、参加したすべての委員さん方が、富士の雄姿や、リニアの試験走行に感激し、帰り際に「有難う、すばらしい内容だったよ」の言葉をかけて下さった。特に県外の委員さんのその一言をもつて了としたい。

我家の庭先からも富士山を遠望することが出来る。これからその姿に接する度に、関プロ大会の事が脳裏をかすめ、人権擁護委員としての意識をなお一層高めることとなるだろう。

法務局職員(の紹介)

- 甲府地方方法務局人権擁護課
- 課長 川崎 明祐
- 係長 佐野 哲也
- 主任 橋本 英紀
- 係員 塚原みどり
- 諏沢支局(峡南協議会)
- 支局長 水出 晃
- 係長 関谷 隆仁
- 大月支局(都留協議会)
- 支局長 宮崎 修
- 係長 遠藤 教子
- 係員 山田美由紀

退任された委員の方々

平成二二年七月一日付けで次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に敬意を表し、今後のご健勝をお祈りいたします。へ敬称は略させていただきます

- 小林 節子(笛吹市)
- 前田 芳三(西桂町)

編集後記

☆例年通り「富士山啓発」が行われます。

七月三二日 山頂で
八月 一日 五合目

☆今回は関プロ山梨大会を振り返つての特集を組んでみました。このすばらしい成果は全委員の力の結集の賜と感謝しております。

